いのちの平等に
向き合える場所

Kumamoto 2016.4.27

◆医師募集のご案内◆

石川県民主医療機関連合会

困っている人は、放っておけない。

「無差別・平等の医療」さきがけの地、石川

戦後、医療から遠ざけられてきた多くの労働者・農民・市民の要求に応えようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が全国各地に作られました。これらの連合会として1953年に結成された全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）は、「いのちの平等、無差別・平等の医療」を掲げ、高度経済成長期の労災・職業病・公害支援、老人医療費無料化運動を経て、70年近くに渡り、働く人びとの要求に応える医療を実践してきました。

＊

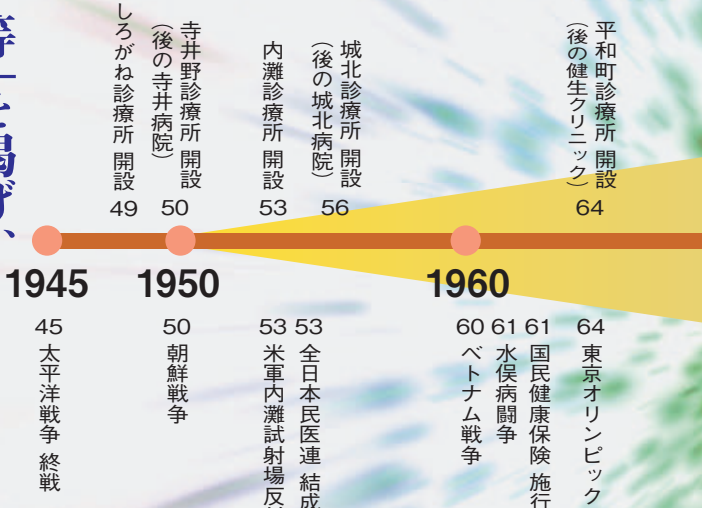
私たち石川民医連は、そのさきがけとして1949年「しろがね診療所」の誕生に始まり、城北地域での診療所建設と病院化、さらに特養ホーム建設運動、介護保険事業の展開へとフィールドを広げ、地域住民とともに、誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざし、保健・医療・介護・福祉の総合的活動を石川県全域で進めています。さらに社会保障制度改善の運動や災害医療支援など、社会的支援活動も継続的に行っています。

※現在、全日本民医連に加盟する事業所は、全国で約1800ヶ所、8万人の職員と370万人の友の会員・医療生協組合員の方々が、まちづくり運動に参加しています。

私たちは、活動の羅針盤としての
「民医連綱領」を定め、
日々その実践に努めています。
（2010年2月、49年ぶりに改定）

私たちは、「いのちの平等」を掲げ、最も困難な人びとに寄り添う医療を続けてきました。

しろがね診療所開設（1949）



震災支援
阪神淡路大震災（1995）
能登半島地震（2007）
東日本大震災（2011）
熊本地震（2016）

金沢市・浅野川水害支援（2008）

表紙の写真について

2016年4月14日に発生した熊本地震では、震度7が2度観測され甚大な被害を受けました。全日本民医連の要請にこたえ、各県連の職員が熊本の医療を守るため支援にかけつけました。石川からも震災直後に医師・看護師・作業療法士がいち早く支援に入りました。

老人医療費無料化運動（1969）

平和町診療所開設（1964）

1970
- 72 沖縄返還

1980
- 81 羽咋診療所 開設
- 85 小松みなみ診療所 開設
- 86 金沢リハビリテーション病院 開設
- 87 石川民医連 結成

1990
- 90 湾岸戦争
- 92 けんろく診療所 開設
- 93 特別養護老人ホーム やすらぎホーム 開設
- 95 阪神淡路大震災
- 97 城北クリニック 開設
- 98 輪島診療所 開設
- 99 健生病院→健生クリニックに

2000
- 00 介護保険制度 施行
- 01 9・11同時多発テロ
- 02 城北診療所 開設
- 03 イラク戦争
- 04 城北歯科 開設
- 07 上荒屋クリニックに→
- 08 なんぶやすらぎホーム 開設
- 10 民医連綱領 改定

2010
- 11 東日本大震災 福島原発事故
- 13 シリア内戦
- 16 熊本地震
- 16 ほやね城北 開設

2020
- 20 城北新病院 グランドオープン予定

粟津校区健康生活調査（2015）

CONTENTS

P.3・4	事業所ネットワーク
P.5・6	民医連だからできること
P.7・8	城北病院の医療活動
P.9・10	石川民医連、新たな未来へ
P.11～13	働きやすい労働環境
P.14	医師募集要項

城北病院 名誉院長
全日本民医連 名誉会長
莇（あざみ） 昭三

住民のいのちと暮らしを 守る、

石川民医連に加盟する事業所は、城北病院・寺井病院の2病院と、診療所9ヶ所（歯科1ヶ所を含む）をはじめ、在宅生活を支える介護事業所、特別養護老人ホームまで合わせて36カ所あります。各病院・診療所を拠点に、健康友の会との共同でそれぞれの地域特性を活かし、住民の立場に立ったまちづくりを進めています。

1 輪島診療所

「医療過疎の奥能登に民医連の診療所を！」という地元出身の職員の熱意と住民の方々の協力で設立。それから20年、「親切でよい医療」をめざして、訪問診療など地域に出かける活動に力を入れ、介護事業所も展開し、複合的な医療活動を実践。医師の高齢化と医師不足が顕著な地域で、2名（内科、整形外科）の医師が日々奮闘しています。

通所介護
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
元気デイ・訪問入浴
小規模多機能型居宅介護

輪島菜の花薬局

2 羽咋診療所

医療介護の専門職として「誰もが健康に安心してくらせる地域づくり」を目指し、健康づくり、住民参加のたのしい企画、地域の制度改善など、幅広く活動。体操教室や医療・介護講座など様々な健康増進に取り組む。宝達志水町や志賀町など広範囲の地域を診療エリアとしています。

通所リハビリテーション
訪問看護ステーション
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
グループホーム

羽咋菜の花薬局

3 小松みなみ診療所

粟津温泉街の近くに立地し、医療過疎地の貧困問題にも取り組み、2016年から無料低額診療事業を実施。住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域の一員として子どもからお年寄りまで診療し、出会ったすべての方に対して、いのちに優しい暖かい医療の提供をめざしています。がんと動脈硬化の早期発見、在宅療養の支援に特に力を入れ、通所介護も併設しています。

通所介護
居宅介護支援事業所

4 寺井病院

“地域にきれめない医療と福祉を”を合い言葉に、開設から65年皆様に支えられてきました。外来部門はかかりつけ医機能を高め、慢性疾患支援、在宅医療、透析や漢方専門診療を行い、療養病棟（55床）では、患者様の在宅生活復帰に向けてケアマネジャー等の介護スタッフも含めた多職種連携に力を入れています。介護老人保健施設手取の里、訪問看護・訪問介護ステーションを併設していることも強みです。国際ヘルス・プロモーティング・ホスピタル（健康増進活動拠点病院）に登録し、地域住民の健康づくりにも積極的に関わっています。

介護老人保健施設 手取の里

通所リハビリテーション
居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション
ヘルパーステーション

小規模多機能型居宅介護事業所 寺井の家

しいの木薬局

医療・介護・福祉の拠点として

石川民医連 会長
松浦 健伸（けんしん）

5
上荒屋クリニック

現所長はリウマチ専門医で国際的なリウマチ学会に参加・発表をし、専門的治療に取り組んでいます。2人の前所長が高齢者在宅往診や特養管理を担い、地域の皆様と強い信頼で結ばれています。隣接する有料老人ホーム、特別養護老人ホームとの連携で、「地域の皆様に安心の医療と信頼の介護福祉」を提供しています。

通所介護
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
訪問看護ステーション
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

上荒屋菜の花薬局

有料老人ホームひだまり

特別養護老人ホーム
やすらぎホーム
通所介護
訪問看護ステーション
ヘルパーステーション
金沢市包括支援センター
居宅介護支援事業所

6
城北病院［基幹型臨床研修病院］
城北診療所／城北歯科

開設以来「無差別平等の医療」の提供を掲げ金沢市京町に根を張り、地域の第一線医療機関として歩んできました。介護・保健予防活動にも積極的に取り組み、これから先の未来も、地域の皆さまと手を取り合い周辺医療・福祉機関の皆さまとも協力・連携しながら「安心して住み続けられるまちづくり」に貢献し続けます。

病児保育室
菜の花薬局

7
城北クリニック

1997年「在宅ケアをフルに支援する」というコンセプトで開設。訪問診療の管理数は160人を越え、介護事業所以外にインフォーマルなサービスとして、地域支援サービスや健康増進・介護予防のとりくみも実践。認知症を中心にした神経内科外来や高齢者外来を実施しています。

通所介護（認知症対応型）
通所リハビリテーション
訪問看護ステーション
訪問リハビリテーション
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

グループホームおんぼら～と

サービス付高齢者向け住宅
ほやね城北

おたっしゃホーム城北
短期入所生活介護
小規模多機能型居宅介護
通所介護

8
健生クリニック

1999年、それまで21年間続いた入院診療を終了し、無床診療所として新たに出発。同時にデイケア「てまり」、病児保育「ほっとルーム」を開始し、すでに活動していた訪問看護・ヘルパーステーションとともに、0歳の赤ちゃんから100歳以上のお年よりまで、みんなに頼られ選ばれる医療・福祉施設をめざしています。内科と共に小児科の診療を行っているのも特徴です。

通所リハビリテーション
24時間対応型 訪問看護ステーション
ヘルパーステーション
病児保育室
居宅介護支援事業所

平和町菜の花薬局

特別養護老人ホーム
なんぶやすらぎホーム
通所介護

9
けんろく診療所

金沢市は兼六園の東南東約1.5ｋｍの静かな住宅街にあり、1992年に石川民医連の3番目の診療所として、金沢大学病院の近くに開設。外来診療以外に介護事業所を併設し、急性期対応や慢性疾患管理、在宅医療など地域の皆様方のかかりつけ医、家庭医をめざし、顔の見える関係で医療連携にも取り組んでいます。

通所介護
通所リハビリテーション
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

けんろく菜の花薬局

すべてのいのちに寄り添う無差別平等の医療

城北病院 副院長
全日本民医連 副会長
柳沢 深志

貧困と格差の広がりの中で、医療や介護を受けられず、いのちが脅かされる深刻な事態が広がっています。民医連は、すべてのいのちの尊厳をまもるため、「無差別平等の医療」を掲げています。

救急患者の受入れを断りません。24時間365日、いつでもかかれます。

入院時に大きな負担となる「差額ベッド代」はいただきません。

「無料低額診療」で医療費の支払いが困難な方を支援します。

「無料低額診療」は、生計困難な方が経済的な理由によって、必要なサービスを受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行うもので、社会福祉法に位置づけられている事業です。この他にも、各種公的制度の活用のご相談にも応じています。

実施事業所	
	金沢市　城北病院／城北診療所／城北クリニック 城北歯科／健生クリニック
	小松市　小松みなみ診療所
	能美市　寺井病院／手取の里（介護老人保健施設）

終末期患者の「最期の願い」を叶えます。

「新幹線に乗りたい」「娘の花嫁姿が見たい」「家に帰りたい」など、患者さんの最期の願いを聞き取り、職員みんなで叶えようとする城北病院の取り組みは、「笑って死ねる病院」としてテレビ・週刊誌でも取り上げられ、評判を呼びました。制度の枠を越え、医師・看護師・セラピストをはじめ多職種がチームとなって患者さんと向かい合うことが、医療の質の向上と職員の生きがい・働きがいにもつながっています。

安心して住み続けられるまちを みんなでつくる

小学校を会場にした友の会主催の「健康チェック」

患者さん・職員・地域住民 みんなの健康づくりをめざす ＨＰＨ

Health Promoting Hospital

ＨＰＨとは、ヘルスプロモーション（健康増進）を推進する病院や施設のことであり、ＷＨＯ（世界保健機関）が推奨する国際ネットワークの組織です。2015年に加盟した城北病院、寺井病院では地域における健康づくり運動として、地域の中では「青空健康チェック」、地域の方々との共同の取り組みでは「健康チャレンジ」、職場の健康づくりでは「禁煙運動」や「ノーリフト作業」など健康づくりを進めてきています。

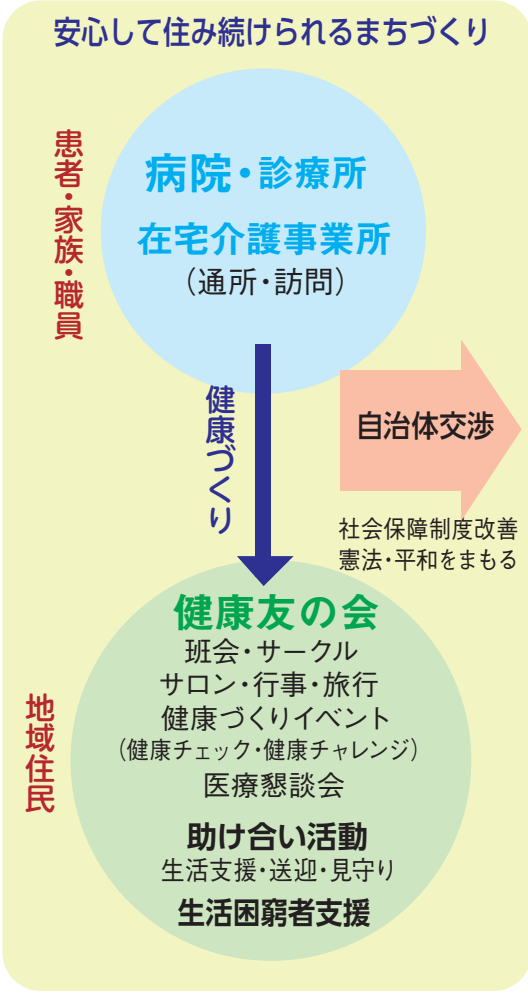
※HPHは現在約40か国・約700施設が加盟しており、日本では60を越える施設が加盟しています。

友の会との共同で支え合うまちづくり

「健康づくり」から「保健予防・医療・介護・社会保障の拡充」の取り組み、地域で助け合う「生活を支援するセンターづくり」など、『安心して住み続けられるまちづくり』を掲げて病院・診療所と共に健康を守る自主的な地域住民組織が「健康友の会（共同組織）」です。健康づくりの多彩な取り組みや講師派遣などに、職員も協力しています。

研修医と地域の交流

生きがいセンター「まつもとてい」結成式



私たちの医療は、ここが強み

垣根のない教育・研究活動を保障します。

民医連の医師（集団）が育つ土壌は、医療活動や研究活動が仲間や多職種の中で評価され、評価しあう関係があることだと考えます。研究や学習活動を保障し、カンファレンスをはじめとする様々な学び合いの機会を設けています。

学会出張保障
国内・海外とも保障されます（上限あり）

臨床病理検討会（CPC）
年10回程度開催

内科カンファレンス
毎週開催
多彩な症例検討や最新の学会症例などを学び合います

術前・術後検討会（POC）
毎週開催

Step up 研修会※
石川県臨床研修指導体制強化事業

※指導医の力量向上を目指し開催しています。過去の招聘講師実績；第9回川島篤志医師（市立福知山市民病院）、第10回～12回鈴木富雄医師（大阪医科大）

チーム医療で患者さんを守ります。

医師をはじめ看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士など医療スタッフが専門性を発揮し、互いに対等平等な立場で患者さんをサポートしています。

- 感染対策チーム
- 褥瘡対策チーム
- CKD(慢性腎臓病)チーム
- 栄養サポートチーム
- ACLSチーム
- 緩和ケアチーム
- 呼吸器ケアチーム
- 認知症ケアチーム
- フットケアチーム

城北病院ホームページ・URL：**http://jouhoku-hosp.com/**

城北病院　院長
大野　健次

医療の質を高める

人権を守り、あるべき医療の姿を考える
倫理委員会

城北病院には、多職種で構成された倫理委員会があり日常診療の中で起こる様々な倫理的問題について検討しています。倫理委員会の役割は、患者の人権を考え、権利を擁護する立場で自らが学習し職員教育にあたることです。また臨床現場から倫理的ジレンマ（モヤモヤしたり判断に迷う）を感じた時に、誰でもタイムリーに相談できるコンサルテーション機能をもっています。倫理の事例検討では臨床倫理4分割法を用いることで、患者の意向やQOLなどに注目し、新たな気づきやジレンマが解消される場合があります。年に4回は、拡大倫理委員会（共同組織、学識経験者、宗教家、弁護士など外部委員が参加）を開催し、先入観や専門知識を取り払って討論を行う場を設け、職員の学習の場になっています。「患者の人権を守り、あるべき医療の姿をめざす」委員会として活動しています。

城北病院 利用状況
（数字は2016年度）

退院数		3,307名
1日平均入院患者数		298名/314床
平均在院日数	全病棟	32日
	急性期病棟	15.9日
手術総件数		630件/年
カテーテル検査件数		322件/年
救急車搬入（受入れ）		1,893件/年
救急外来患者数		9,911名/年
透析件数（延べ）		13,195件
リハ患者数（全体・延べ）		78,205人

城北診療所 利用状況
（数字は2016年度）

患者実数	72,219名
患者延数	106,680名
1日平均外来患者数	363.3名

精神科病院、消防署との
医療連携

松原病院との合同カンファ

城北病院には精神科の救急の受入れが多く、精神科病院（松原病院）との連携を大切にしています。松原病院の医師やスタッフ参加のカンファレンスを定期的に開催し、症例を共有し、対応についても意見交換等行っています。

金沢市消防局との症例検討会

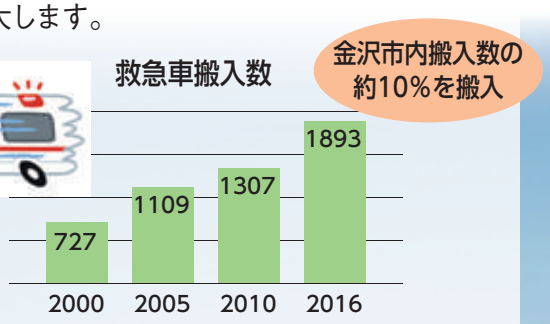
毎年1回、金沢市消防局救急隊との症例検討会を開催し、2017年で4回目となります。搬送までに多くの病院の受入れを断られた症例や、精神科疾患の受入れが困難な症例を交え、救急隊員からの問題提起を受け協議を重ねています。毎回救急隊員と職員含め９０名を超える参加があります。

城北新病院、2020年グランドオープン！

城北病院では建物の老朽化が顕著で、患者さんにとっての療養環境や職員の労働環境の改善、災害時の建物の耐震化が課題となりました。これらをクリアすべく、新病院の構想が始まりました。金沢市京町で地域と共に歩んできた城北病院は、移転新築せず、この地での建て替えを決めました。また、建て替えるだけでなく、私たちが実現したい理想の医療と友の会や地域の皆様が必要としている医療は何かを見つめ直し、未来の医療構想を練り上げてきています。

救急病床を2倍に拡大！

「受入れを断らない！」をコンセプトに、24時間・365日、救急対応に取り組む中で、患者さんの「最後の砦」としての役割を高めていきます。新病院では救急診療スペースを広げ、ベッドを5床から10床に拡大します。



2015年金沢市の救急出動件数の合計：15,822件

緩和ケア病棟（20床）を新設

悪性腫瘍を患い、治癒を目的とした治療が困難になった患者さんが、最期までその人らしく尊厳を持って過ごしていただけるよう支援していく病棟を新設します。

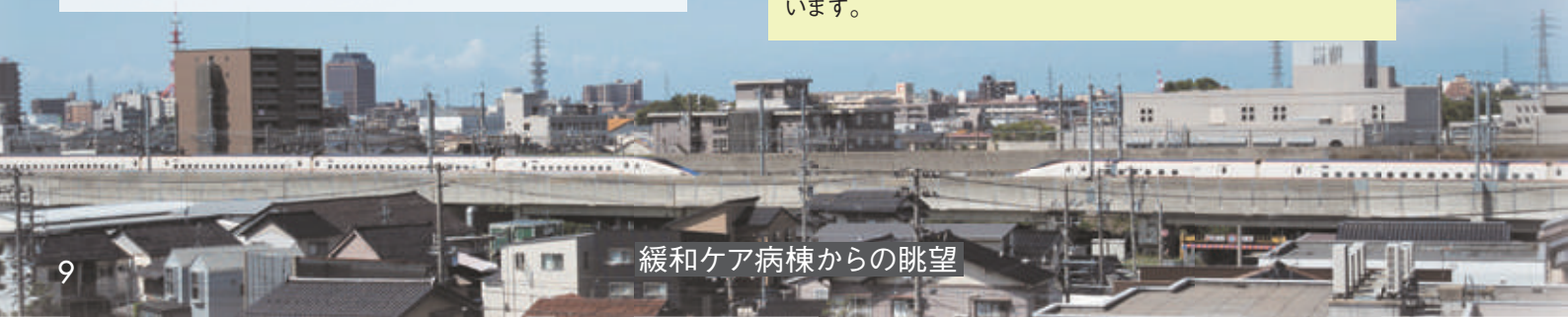
※県内の緩和ケア病棟を備えた病院は、石川県済生会金沢病院（28床）小松市民病院（10床）の2つのみ。

総合診療・家庭医

2016年より総合診療科を立ち上げました。毎週1回「総合診療・家庭医カンファレンス」を開催し、学びの場を設けています。金沢大学より総合診療科・臨床実習生も受け入れています。

総合診療・家庭医カンファレンスとは？

総合内科病棟と診療所で働く医師が、同じ話題で勉強会を開こうとの試みです。経験20年以上のベテラン医師から、初期研修中の研修医まで幅広い参加者が熱心に討論を行っています。



緩和ケア病棟からの眺望

地域包括ケア時代のミッションは、総合力

「2025年問題」に向かう今、求められるのは、「治す医療だけでなく、見守り・支える医療、生活の質までも支援していく医療」。求められる力は、専門領域に限らず幅広い症状に対する診療、初期救急に対応できる力量など、複合的に診ることが重要になってきます。また地域のニーズに応じ、自らを柔軟に変化させていく能力が重要性を増していきます。何よりも医療だけでは患者さんを支えることはできません。友の会（共同組織）の活動を軸に、子どもから高齢者まで、さまざまな団体や組織の人々とも連携し、住民が参画し協働する“まちづくり”を進めることが求められます。

人権としての「住まい」保障 地域で住み続けられる場づくりを

石川民医連では2007年に金沢リハビリテーション病院を「住宅型有料老人ホームひだまり」に転換し、安心して暮らせる住まいづくりを開始しました。また、初めての高齢者住宅「ほやね城北」を2016年7月に開設、一人ひとりの住まい方を支援し、地域に支えられて30名の方が暮らしています。お隣りさんを誘い合って買物に出かけたり、地域の方も巻き込んだ友の会班会の開催、地元児童館の子どもたちとの交流など、暮らしが生きづいています。

地域の支え合いネットワークをつくる

自治体とも連携した、貧困調査、高齢者実態調査、HPH関連など、地域実態の調査・研究機関の設立と、職員や住民の認知症に対する知識やケア実践を学び高める機関の設立を、学識者とも連携しながら進めます。

ほやね城北

NPOたすけ愛
送迎サービス

NPOたすけ愛
配食サービス

さまざまな事情、いろんな想いを応援します。

働く女性や子育て世代を応援します。

子育てと医師を両立したい

女性医師が結婚や出産後も安心してはたらき続けられるよう病院全体でサポートしています。各々の医師の働き方に合わせて、外来だけの勤務や子育て中の当直免除も可能です。また保育園の送り迎えに合わせた時短や隔日勤務など、勤務体系もご家庭の事情に応じて対応できます。困り事や不安な事はお気軽にご相談ください。

「院内保育所（杉の子保育園）」も完備

365日開園し、夜間保育、臨時保育も行っています。杉の子保育園は1975年に設立。城北病院より３０mのところにありますのでいざという時も安心。一人一人の個性と成長に合わせ、真心こめて保育を行います。

子どもが病気をした時は休めるのでしょうか？

城北病院では「病児保育（はっぴ〜）」を運営しておりますので、そちらで預かることができます。急な休みや早退等、柔軟に対応できますので、ご安心ください。

夜間保育料や病児保育料の補助制度もあります

子どもが小さい間の勤務時間の短縮制度はありますか？

妊娠子育て中の女性医師の多様なニーズに対応する勤務形態が可能です。状況の変化に応じ、勤務形態を変更することも可能です。その他勤務時間の短縮制度も利用できます。

柔軟な勤務時間

○短時間常勤医師制度
○生後3歳未満のお子さんを養育する職員の勤務時間の短縮
○就学前のお子さんを養育する職員の深夜業務の免除
○お子さんの看護休暇
○要介護状態にある家族の介護休暇や勤務時間の短縮

短時間常勤医師制度

労働時間：週 32 時間又は 24 時間
・希望する曜日、時間帯で働けます。
・福利厚生は、フルタイム正職員と同等待遇
・給与は、勤務時間比例で支給されます。
・退職金は、利用期間に応じた減額があります。

土日働くのは無理。でも社会保険は欲しい。

週20時間以上の勤務で社会保険を適用できます。

医師人生、石川民医連でリ・スタートしませんか？

出産・子育てで数年間のブランクがあり復職したいけど臨床に入るのが不安。トレーニングしながらの復帰はできますか？

可能です！ 外来診療から徐々に始めていただき、適宜先輩医師へ相談が可能です。また希望に応じて、事前見学や病棟での実習プログラムにも対応できますので、何でもご相談ください。

一般的に男性は育児休暇を取りづらいと聞きます。男性医師が休暇を取得した前例などはありますか？

男性医師の育児参加についての職場の理解度は高く、これまでに複数の医師が育児休業制度を利用した実績があります。

週末や夜に働きたい！

- 忙しい大学勤務の合間にバイトしたい
- もう少し収入を上げたい
- 研究職だけど臨床の現場で働く機会もほしい

スポットでの勤務（土・日当直、休日日直等）も受け入れますのでお問い合わせください。
（例）土曜日 9:00～日曜日 17:00

シニアドクターのゆとりある働き方を応援します。

地元にUターンし親の介護を続けながら働きたい

定年は過ぎたけどできる範囲でまだ活躍したい

プライベートも楽しみたいけど仕事もしたい

シニアドクターが、安心して働き続けられるよう職場のサポートを行っています。時短や隔日勤務など勤務体系も事情に合わせて対応できます。

自分のペースで学び直したい方を応援します。

転科して、もう一度学び直したい

じっくりと臨床の勉強をしながら学び直したい

ゆったりと専門資格をとりたい

オーダーメードの研修プログラムを用意しています。

診療所を拠点に、地域医療に携わりたい先生にお勧め！

地域医療、診療所を担いたい！

将来的に、内科・総合診療医・家庭医になりたい！

総合診療科＆家庭医プログラムで地域医療の実践をサポートします。

総合診療専門研修プログラム

城北病院では2016年4月、総合診療科を開設しました。近年多くの病院で“総合”診療が始まっており、一つの新しい流れとなっています。総合診療科プログラムは「北陸総合診療コンソーシアム」の基幹病院として参加しています。

北陸総合診療コンソーシアムとは？

専攻医のさまざまなニーズに応えたテーラーメイドの総合診療専門研修を提供し、これからの北陸のプライマリ・ケアを担う若い人材を育成するために、国公私立大学・研修病院・診療所などのあらゆる壁を越えて、石川県を中心とする北陸の**8つの基幹病院と49の連携施設**により策定された極めて画期的な連携プロジェクトです。

輪島診療所・訪問診察──ご家族に囲まれて──

家庭医プログラム

病院と診療所並行して外来研修が可能

- 研修の中心となる城北病院は城北診療所に隣接しており、在宅診療を担う城北クリニックも城北病院から徒歩2分の所にあります。
- 城北病院や寺井病院で内科、総合診療科研修を行いながら、城北診療所にて、総合外来・各科研修、城北クリニックで在宅研修が行えます。

住み続けられる地域づくりを住民と

民医連の各施設は「健康友の会」「生協組合」の方々と一緒に取り組むことを通して、住民、地域の視点をより身につける事ができます。

これ以外にも、こんな研修が可能です。

認定教育施設（一部抜粋）

日本内科学会　認定医制度教育病院
日本アレルギー学会　認定教育施設
日本消化器内視鏡学会　専門医制度指導施設
日本リウマチ学会　教育施設
日本外科学会　外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会　専門医修練施設
日本がん治療認定医機構　認定研修施設
日本整形外科学会　専門医制度研修施設
日本リハビリテーション医学会　研修施設
日本精神神経学会　精神科専門医制度研修施設
日本産業衛生学会　認定研修施設

医師 募集要項

募集職種	医師
募集科目	内科一般医、透析担当医、回復期リハ病棟医（専従）、 医療療養病棟医（内科・総合診療医） 救急担当医、老人保健施設、診療所（外来・訪問診察） ※他科についてもご相談ください。 ※各種専門医取得可能です。
雇用形態	常勤・非常勤（日勤・夜勤・当直） 短時間常勤医師制度 ：週32時間及び24時間、常勤として勤務
勤務場所	城北病院、寺井病院、手取の里、輪島診療所、 羽咋診療所、健生クリニック、けんろく診療所、 城北クリニック、上荒屋クリニック、小松みなみ診療所
経験年数	経験年数は問いません
年 齢	65 歳まで（65 歳以上の医師の方も応相談）
給与等	5 年目 年収　約 850 万円 10 年目 年収　約 1200 万円 15 年目 年収　約 1400 万円 ※日当直料含む／税込　経験評価あり
勤務時間	月曜日～金曜日　8:30 ～ 17:12 土曜日　8:30 ～ 12:30（月 2 回程度）
勤務内容	入院、外来、検査など 夜間当直あり、週 1 回程度
休日・休暇	日曜日、祝祭日、土曜日、年末年始 5 日（12/30 ～ 1/3） 夏期・冬期休暇 4 日、年次有給休暇 10 日 当直明け休暇保障制度 医師賠償保険を法人に於いて加入
労働条件	◎パート医も随時募集しています
福利厚生	住宅手当支給、または借り上げ住宅を提供 院内保育所、病児保育所
備 考	学会出席：可能、業務扱い　出張費用支給 赴任手当：あり、家財移送料搬送実費、 赴任交通費支給

お問い合わせ

石川県民主医療機関連合会

本部事務局　〒920-0848　石川県金沢市京町 24-14

TEL.076-253-1458　FAX.076-253-1459

E-mail：min-iren@m2.spacelan.ne.jp　URL：http://imin-iren.jp

石川県で活躍しませんか？

石川県は、加賀百万石の伝統と文化が息づく城下町・金沢を中心に、北は豊かな自然が育む能登半島から、南は霊峰白山と加賀温泉郷まで、海と山の幸に恵まれた、暮らしやすさ抜群の地域です。

写真提供：石川県観光連盟／金沢市

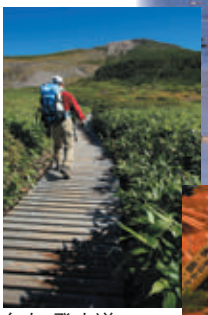
あばれ祭り

千枚田

能登島ガラス美術館

木場潟からみる白山

金沢城


白山・登山道

加能ガニ

兼六園

ひがし茶屋街

金沢21世紀美術館

加賀温泉郷

伝統和菓子・福梅

2017年11月発行

石川県民主医療機関連合会

本部事務局　〒920-0848　石川県金沢市京町 24-14　**TEL.076-253-1458　FAX.076-253-1459**

E-mail：min-iren@m2.spacelan.ne.jp　URL：http://imin-iren.jp